

「もえる節目」の教育活動

☆ 令和6年度 磐田西小の育てたい資質・能力

○ 問題解決力 ○ 批判的思考力 ○ 伝える力 ○ 協働する力

1 期間 6月4日（火）～7月23日（火）

2 キーワード

○ 進む・つなげる



「めぶく節目」が終わり、6月4日（火）から、「もえる節目」に入ります。
 「めぶく節目」では、それぞれの学級が「目指したい学級の姿」や「目指したい授業」について話し合いをし、イメージを共有してきました。「めぶく節目」を終え、「何ができるようになったのか」「自分たちの課題は何なのか」を振り返り、子どもたちと共有しながら、次の「もえる節目」につなげていきます。

運動会も終わり、日々の授業をより一層充実させ、目指す姿に向け、一步一步着実に進んでいけるよう、力を合わせて教育活動を進めていきます。

3 学年の取組み ～第3学年～

(1) めぶく節目の子どもたちの様子

- ・ 運動会練習では4年生の姿を見習いながら、一生懸命ソーラン節の練習に取り組みました。
- ・ ペアやグループでの活動では、友達と活発に話し合う様子が見られました。全体での発表になると挙手する児童が少なく、ペアやグループでの良い表れが全体ではあまり見られませんでした。

(2) もえる節目の目標

重点目標 「多様性を認め合い、学び合う授業づくり」

学びづくり		部	心づくり	
協働的な学びを通して自らの学びを実感する子		育てたい子	しなやかな心を持ち夢中になって取り組む子	
話す・聞く・書く	協働する力	節目の目標	生活	協働する力
自分の思いや考えを伝える。	互いの考えを認め合い、意見を整理して考える。		相手を思いやり、進んで親切にする。	互いの良さを認め合い、良さを取り入れようとする。

(3) 指導のポイント

- ・ 発表の際に、全体に聞こえる声で言うことが苦手な児童が見られます。声の強弱や調子に気を付けて話すことができるように指導していきます。
- ・ 学習でも生活でも「互いを認め合う」ことが目標に含まれています。相手の悪いところに目を向けるのではなく、良い部分に目を向けるように声を掛けて行きます。認め合いながら共に成長できる関係を築いていきたいと思ひます。